

明野処分場シンポジウム

安全と赤字のゆくえ

明野産業廃棄物最終処分場が操業を開始して以来、事業者側が絶対大丈夫と言っていた安全性と財政上の運営に大きな赤信号がともっています。なぜこんな状態になったのでしょうか。

私たちは、その原因と今後を県民の立場から考えるために、そしてゴミを出す私たちの問題として捉えるために、シンポジウムを開くことにしました。くわえて国から県に対し、明野処分場に震災ガレキの搬入を要請されたことも、重大な問題として取り上げなければなりません。

開催にあたり、事業を行っている側の山梨県や山梨県環境整備事業団にも出席を要請しましたが、それらの問題については県議会や安全管理委員会で説明し、理解を得ているので、あらためて別の場で議論する必要はない、との回答で、参加していただけないことになりました。

従って県及び事業団の不参加という形ですが、以下の要領で行いますので、皆さまのご参加をお待ちしています。

★日 時 5月26日(土) 14時00分～16時30分(予定)

★場 所 敷島総合文化会館 (甲斐市島上条1020)

☎ 055-277-4111

● 報告者と司会

梶山正三さん(弁護士) 中荃佳奈子さん(いのち・むすびば)

坂野 斎さん(山梨大学助教) 篠原眞清さん(北杜市議会議員)

大崎喜久江さん(明野処分場対策協議会)

野沢今朝幸さん(笛吹市議会議員)

司会 川村晃生さん(みどり・山梨)

主 催 明野処分場シンポジウム実行委員会

(参加団体(五十音順) 敷島・水と緑を守る会 新日本婦人の会甲府支部

みどり・山梨 山梨・水と緑を守る会)

連絡先 055-252-0288(みどり・山梨、川村)

※ 当日は、会場で他にも催しがあり駐車場が混み合いますので、できる限り乗り合わせてお越し下さい。